

月額利用料金の算定の基礎				
①家賃相当額				
48,000円				
内訳				
生活保護の家賃扶助の一般的な金額であることから、生活保護受給者の利用も考慮して設定。45,000円から考えても妥当な金額と考えている。				
②管理費				
19,800円				
内訳				
800,000円（有料老人ホーム人件費：職員の平均時給1350円が24時間30日勤務した費用）÷22.5名（入居者数）＝35,555円（税込み22,000円）の管理費とする。施設運営上の水道光熱費も管理費に含まれる。				
③食費				
45,000円				
内訳				
一食あたりを朝500円、昼500・夜500円の計算。但し月額上限を利用しやすいように45,000円（朝食15,000円、昼食15,000円、夕食15,000円）とする。				
④消耗品				
15,000円				
内訳				
利用者数25名の消耗品経費を試算。オムツ類150,000円/月、日用品類120,000円/月、衛生材料110,000円/月、その他経費50,000円、日用品類160円、衛生材料146円、その他66円で総額572円となり、30日計算で17,160円だが、生活保護受給者や、生活保護受給者の月の消耗品費としたい。				

名古屋市中川区ワンルームアパートの家賃相場：4万円～		
※満床の90%) = 35,555円となるが、生活保護受給者の受入が上記理由により費用は徴収しない。		
税込み40,500円) とする。		
10,000円/月、これから一人1日分の消耗品費を算出すると、おむつ類、金銭的余裕のないご利用者様もご利用いただけるように、15,000円/		